

2020年2月4日

働き方改革を支援するクラウドアプリケーションのラインアップを拡充 ～新世代複合機との連携で中小企業の業務効率を改善～

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、企業の働き方改革を支援するソリューションとして、「印刷」、「ユーザー認証」、「機器管理」、「レポート自動作成」など複合機・プリンターの管理・運用機能を統合したクラウドアプリケーション「RICOH カンタンセキュアプリント for Cloud」と、複合機で受信したファクス文書を自動でクラウドにアップロードして外出先から確認できるアプリケーション「RICOH カンタンファクス仕分け for Cloud」の2商品を2月12日に発売します。

近年、少子高齢化による労働人口の減少や働き方改革が広がるなかで、最新のデジタル技術を活用した生産性向上は企業にとって大きな課題となっています。特に中小企業では人手不足が深刻な状況となっており、ICT活用による生産性向上は社会課題の一つとなっており、限られたリソースの中で利用者の利便性向上と負荷軽減を同時に実現できるソリューションが求められています。

「RICOH カンタンセキュアプリント for Cloud」は、これまで個別に提供していた各機能を統合してワンパッケージで提供することにより、便利でセキュアなプリント環境を実現するクラウドアプリケーションです。リコーのクラウドを介して、ご契約中の複合機・プリンターからならどこでも出力することができます。また、PINコードやICカードを利用した認証により、自分の印刷データを任意の場所・タイミングでオンデマンドに受け取ることができ、セキュアな利用環境を実現します。

さらにプリント・コピー・ファクス・スキャンといった複合機の利用情報をクラウド上に収集し、自動でレポートを作成します。管理者は登録した機器の情報をリアルタイムに一元管理することができ、エラーへの早期対応や消耗品の事前補充により機器の利用を円滑化できます。

「RICOH カンタンファクス仕分け for Cloud」は、複合機で受信したファクス文書をクラウド上に転送・保管できるアプリケーションです。外出先でもノートパソコンやスマートデバイスからすぐに内容を確認することができます。また、自動で発信元ごとに登録フォルダへ仕分け保存できるので、目的のファクスを素早く確認できます。さらに、ファクス受信を登録したメールアドレスに通知することで外出先からのタイムリーな対応を可能にします。外出先からオフィスに戻ってファクスを確認したり、ファクスの転送を依頼する必要がなくなり、お客様の業務の効率化に貢献します。

両製品は、複合機や電子黒板、カメラなどのエッジデバイスと、さまざまなサービスをクラウド上で連携するリコーの「EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES プラットフォーム」に対応したアプリケーションとして提供します。保守やバージョンアップ込みの定額制(月額/年額)で手軽に導入できるうえ、必要がなくなった場合は解約も可能です。また、サブスクリプション型の料金体系であることから、従来の購入モデルのように資産計上をしなくてよいため導入がしやすくなりました。導入コストや管理者の負担を抑えながら、セキュアな環境で効率的なオフィス機器の運用を実現します。

リコーは、さまざまなエッジデバイスやアプリケーション、クラウドサービスなどを組み合わせ、それぞれの業種業務に対応したワークフロー変革を支援することで、お客様の業務の生産性向上に貢献します。

株式会社リコー <https://jp.ricoh.com>

報道関係のお問い合わせ先 リコー 広報室 TEL : 050-3814-2806(直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp

お客様のお問い合わせ先 リコー ウェブサイト : <https://www.secure.rc-club.ricoh.co.jp/ricohsmartintegration>

＜「RICOH カンタンセキュアプリント for Cloud」の主な特徴＞

1. 場所にとらわれない印刷が可能

- ・ ノートパソコンやモバイルからデータをクラウド上に登録することで、社内の各フロアや関連会社のオフィスなどに設置されているどの複合機・プリンターからも自由に印刷できます。

2. 多様な認証方式に対応

- ・ お客様のご利用環境に合わせてPINコードやICカードなどさまざまな認証方法に対応します。個人認証によるオンデマンド印刷により、自分の印刷物を確実に受け取ることができ、紙からの情報漏えいリスクを抑えることができます。
- ・ ユーザー単位で個人認証を行うため、ユーザーごとに機器の利用制限をかけることもできます。

3. 登録機器・ユーザーの利用情報を可視化

- ・ あらかじめ設定した締め日に合わせて、月々の利用状況についてレポートを自動作成します。そのまま報告資料として活用することも可能で、不要な機器の配置転換など効率的な運用と業務改善に貢献します。

4. クラウド上で機器やユーザーを一元管理

- ・ 管理者はWebブラウザから専用Webページにアクセスすることで、登録されているすべての機器の状態を一覧で確認できます。状況をリアルタイムで把握し、対応に役立てることができます。

＜「RICOH カンタンセキュアプリント for Cloud」の価格＞

サービス名	標準価格(税別)
RICOH クラウドアプリケーション スタートパック	初回 5,000 円/1 契約
RICOH カンタンセキュアプリント for Cloud 月額契約	2,000 円/1 デバイス
RICOH カンタンセキュアプリント for Cloud 年額契約	2,4000 円/1 デバイス
RICOH カンタンセキュアプリント for Cloud インストールキット	1,500 円/1 デバイス

※対応機種はウェブサイトをご覧ください。

<「RICOH カンタンファクス仕分け for Cloud」の主な特徴>

1. 受信ファクスを複合機からクラウドストレージに自動転送

- ・ 複合機で受信したファクスをOneDrive for Business®へPDFファイル形式で自動転送します。転送されたファイルは自動で登録フォルダに仕分けされ、ファクス受信を登録したアドレスにOneDrive for Business®のリンクを記載した通知メールを自動配信します。

2. Excel®形式の定義表で簡単に管理

- ・ 送信側のファクス番号(ナンバーディスプレイ)、登録フォルダ名、ファクス受信通知メールアドレスを、Excel®形式のファクス仕分け定義表で専門的な知識がなくても簡単に管理できます。

<「RICOH カンタンファクス仕分け for Cloud」の価格>

サービス名	標準価格(税別)
RICOH クラウドアプリケーション スタートパック	初回 5,000 円/1 契約
RICOH カンタンファクス仕分け for Cloud 月額契約	2,000 円/1 デバイス
RICOH カンタンファクス仕分け for Cloud 年額契約	2,4000 円/1 デバイス
RICOH カンタンファクス仕分け for Cloud インストールキット	2,000 円/1 デバイス

※対応機種はウェブサイトをご覧ください。

※PDFは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

※OneDrive、Excelは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他、会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

| リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています。(2019年3月期リコーグループ連結売上は2兆132億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会にむけて積極的な取り組みを行っています。

[EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES](#) - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>